

平成30年度益子町災害ボランティア研修会 アンケート集計結果

○講師ピースボートの講話やワークはいかがでしたか？

とてもわかりやすい	わかりやすい	普通	少しわかりにくい	わからなかった
32%	56%	7%	5%	0%

○あなたのお住いの地域では、災害が起きた時連携がとれると思いますか？

しっかりとれる	なんとかとれる	わからない	少しむずかしい	全くとれないだろう
2%	63%	20%	15%	0%

○全体を通して今年度の「災害ボランティア研修会」は、どうでしたか？

とても勉強になった	勉強になった	普通	あまり良くなかった	得るものは無かった
37%	59%	2%	2%	

○災害に対する意見を自由に記入して下さい。

(こんな研修会をしてほしい、取り上げて欲しいテーマ、災害が起きた時の不安など)

- 実際に災害にあわれた人の経験談を聞いてみたい。
- 地域の方と話し合いをすることで様々な問題がわかりました。
- 地域のつながりをつくるのは難しいと思った。何と答えて良いかわからない部分もあったが、皆さんと考えることもあったので参考になった。
- 災害ボランティアというと支援の方ばかりイメージしていたが受援ということも考えておく必要を教わりました。障害のある方から訓練時は対応があったが、実際の災害時には何の情報も無くて困ったと聞いたことがあり、そういう声を周囲へ伝えていく必要もあると思った。
- 災害が起きる前から地区ごとに連絡系統を確認しておく必要があると思う。
- 自治会として（自治会役員等の）このような研修があると良いと思う

- 研修会がすごく勉強になりました
- いろいろな話を聞いて災害の時など不安がなくなった。
- 地域のつながりをつくるのは難しいと思った。何と答えて良いかわからない部分もあったが、皆さんと考えることもあったので参考になった。
- 受援力という言葉を知りました。これなら私達後期高齢者でも役に立てると思いました。
- 親子（小学生）等での研修があると良い
- 頭の中ではわかっているけどいざとなるとどうなるか。今は知識を深めること。もしもの時はまず自ら出来る事を実践すると思う。
- 自分がボランティアをする時は、何が出来るのかとかどういう手順で進めたらいいかなど考えていたけれど、自分が被災した時は、どのような行動をとればいいのか少し理解できました。
- 個人情報とか、個人を思いやる事が必要で、ボランティアをする側、受ける側では大きく違うのだと実感しました。
- 田舎でも、周りの家の事を知ることが少なくなり災害が生じたとき、近所の人達の支援が困難だと思いました。
- その地区ごとの災害の時の研修会を開いてほしい。
- 東日本大震災の時、仕事の関係で1ヶ月くらい家に帰ることが出来ず家族がどうなっているのかとても心配した。日中高齢者だけになってしまうのでとても心配です。
- 自治会役員等の連携は取れているか、いなか？準備は必要だ。
- 最近、竜巻や集中豪雨が身近に起きて、不安に思っていました。個人で防災、避難グッズの用意をする他に、地域のつながりについて考えるきっかけになりました。ありがとうございました。